



佐野短期大学学報

か た く り

入学特集号

発行/佐野短期大学

栃木県佐野市高萩町973

電話(0283)21-1200

北関東で初!!

平成十七年度
(財)短期大学基準協会

第三者評価

適格

第三者評価について

学校教育法の改正により、短期大学は平成17年度から、教育研究、組織運営及び施設設備の総合的な状況について、文部科学大臣の認証を受けた者（認証評価機関）による評価（認証評価）を定期的に受けることになりました。

新入生に贈るメッセージ



感動と感銘の日々を

理事長・学園長 池田 健次

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

皆さんは、今日から本学での学生生活が始まります。それぞれが希望と期待に心躍らせていることと思います。本学での 2 年間の生活が皆さんの将来を創造する上で大きな糧となることを心より期待いたします。

入学式にあたり、所信の一端をお話しし、お祝いの言葉と致します。

本学は平成 2 年、当時平地林と田畑ばかりのこの地に佐野女子短期大学として開校し、今年で 16 年目を迎えます。

現在では周辺環境も一変し、佐野新都市地域の中核をなすと共に、教育組織も幾多の改革・改編を行い、社会のニーズに応えながら成長してまいりました。

本学の南側には万葉集の東歌の中で「下野の三叢の山の小檜のすまぐはし児ろは誰が筈か持たむ」と歌われた三叢山が見えます。三叢山も大規模県立公園として開発され、古の面影が消えようとしています。

これらの本学を取り巻く自然環境や社会環境の変化は、急激な時代の変わりようを象徴しているように思えます。

通信情報機器の急速な進歩や、それに伴うグローバル化の進展など、私たちを取り巻く環境は激変の連続であります。

特に、科学技術の発展は目を見張るものがあります。その結果、私達の生活は全ての面で利便性が高まりました。

しかし一方では人間本来の思考スタイルが、あまりの変化のスピードに追いつけない為のアンバランスが生じているように思えます。

21 世紀は「心の時代」と表される所以もここにあります。

皆さんも修学旅行などで一度は訪れたことがあると思いますが、奈良斑鳩の里に薬師寺というお寺があります。

約 40 年ほど前、薬師寺の管主にすでに故人となられましたが、高田好胤という方が就かれました。彼は多くの著書を著していますが、およそ 25 年前の著書の中で「現代はストレスの時代といわれ、あまりにも刺激が多すぎる。だからちょっとやさつとのことでは心を動かさない。これが昂じれば感情のない人間、心のない人間となり、それはもはや人間でさえない。感動すべき時に感動するという心の素直さを持ち続けることも大切なことである」と述べています。

これは四半世紀前の言葉であります。物質文明の進歩と人との関わりの危うさを指摘したものであります。

25 年が経過した今、当時とは比較にならない進歩・発展の中で、彼が指摘したことが現実の問題として私達個人の生き方の中に、そして社会の中に現れているように思います。

昨年から今年にかけての経済界や金融界の犯罪行為、市民生活の安全を脅かす凶悪事件、韓国における高等研究機関での二重論文事件等々枚挙に暇がないほどであります。

「自分さえ良ければ」「他人を踏み台にしてまで」「不正もバレなければ」等いずれも人道を逸した行動であり、心の虚しさを覚えます。

今こそ、私たち一人ひとりがその「生き様」を心静かに省みる時ではないでしょうか。

表面の華やかさに目と心を奪われることなく、心の奥底で感動し、感銘し生きることの喜びを体全体で実感できる人生を創造して欲しいものです。

新入生の皆さん、本学での生活を通して、学識を高め、豊かな倫理観・道徳観を磨き、社会の良き構成員としての資質を高められることを心より期待しています。



新生に贈るメッセージ



自分の頭で考えることの大切さ

学 長 谷 島 一 嘉

学生諸君のご入学を心から歓迎し、お祝い申し上げます。

あなた方にはこれから 2 年間、この佐野短期大学で学んで、いろいろな資格にチャレンジして社会に出る準備をし、あるいはさらに上の 4 年制の大学を目指して勉強に励み、また学園生活を大いにエンジョイして、という日々が待ち構えています。たぶん皆さんはこれからの学園生活に対して、大きな期待と、うまくなじめるかどうか、ちょっぴり不安を抱えていることでしょう。先生方がちゃんと指導して下さいますが、外部の施設に実習に出ればすぐに、挨拶がきちんとできるかどうか、実習生として、また一人の社会人として、マナーを守れるかどうかが問われます。挨拶がきちんと出来て、学生としてのマナーをきちんと守る習慣を身につけることが学園生活の第一歩なのです。また、レポートや報告書などの書類を自分できちんと書けるようになってほしいと思います。

一生で一番感受性が高く、みずみずしい時期を新しい友人たちと共に学び、遊ぶ時期をこのサノタンで迎えたわけであります。学園での友人や先生方との出会いを大切にするとともに、情報が氾濫して目まぐるしく情勢が

変わる世界の中で、自分を見失わないでこれからの長い人生を生きて行くために、ぜひ自立する習慣、つまり自分自身で考え、自分の責任で行動する習慣を身につけてくださるようお願いします。

ここ数年間の本学の特色は、自分の頭で考える教育の実践です。あなた方の脳は、今一番伸び盛りです。記憶力は今が一番伸びるときで、やる気になればスポンジに吸収される水のように覚えられる時期です。得た知識を自分の頭で考えて物事の本筋を理解し、行動に移す実践力を養っておきましょう。性格が形成されてその人の個性が出てくるのもこの時期です。この時期に自分をどのくらい開発するかで今後の生き方が決まるでしょう。

最近の一連の事件は、人々の心が崩壊してお金がすべて、そのために何をしてもよい、といった風潮を感じさせます。子供やお年寄りを狙った凶悪な犯罪も増えていきます。でもそんなこととは無縁の善良な人々が大半なのです。きちんとまじめに生きてゆきましょう。その基礎をサノタンで築きましょう。2 年間の学園生活で自分をしっかり磨いて、2 年後には全員がサノタンに学んでよかったと、誇りを持って卒業されることを期待します。



人 事

() は前任

〔新規採用〕 < H18.4.1 >

兼 任 講 師 深井 稔
高松 利典
管 理 室 山本 勝弘

〔新 役 職〕 < H18.4.1 >

学長代理代行 國分 三郎 (学科長・教授)
英米語学科学科長 長江 庸泰 (教授)
経営情報科学科長 古川 慎一 (教授)
栄養福祉専攻主任 穂積 元 (教授)

〔任用換え〕 < H18.4.1 >

特 任 教 授 金子 節也 (教授)
特 任 講 師 菊地 政隆 (兼任講師)
客 員 教 授 中野 善達 (特任教授)

〔昇格異動〕 < H18.4.1 >

短大事務局長 前澤 典明 (法人本部事務長)
法人本部総務課長 兼 会計課長
嶋森 広樹 (短大総務課長補佐)

〔配置転換〕 < H18.4.1 >

総 務 課 茂木 千鶴 (進路指導課)
進路指導課 森田 拓男 (総務課)

〔退 職〕 < H18.3.31 >

兼 任 講 師 増田 康弘 山本 卓二
加藤 道久 遠藤 良江
事 務 局 長 村岡 民義
管 理 室 斉藤 昌次

平成 18 年度 各種委員会委員長

常置委員会

学 務 委 員 会 稲 見 崇 司
学 生 生 活 委 員 会 長 江 弘 晃
進 路 指 導 委 員 会 國 分 三 郎
図 書 委 員 会 佐 藤 秀 一
公 開 講 座 委 員 会 須 江 國 雄

特別委員会

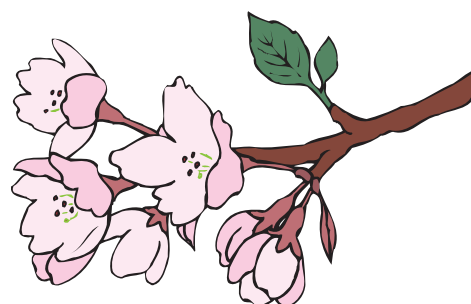
入 学 試 験 委 員 会 谷 島 一 嘉
自 己 点 検 評 価 委 員 会 大 室 精 一
広 報 委 員 会 松 崎 宣 子
F D ・ 将 来 構 想 委 員 会 谷 島 一 嘉
ボ ラ ン テ ィ ア 委 員 会 橋 本 佳 子

臨時委員会

第 三 者 評 価 委 員 会 長 江 弘 晃
施 設 整 備 委 員 会 前 澤 典 明
安 全 衛 生 委 員 会 長 充 男

短期大学基準協会第三者評価

A L O (第 三 者 評 価
連 絡 調 整 責 任 者) 長 江 弘 晃
評 価 員 佐 藤 秀 一
國 分 三 郎



学報編集委員

立川聡子・佐藤秀一・古川慎一・大熊信成・新井文子
高橋登美子・藤田 睦・亀田英三・大橋義成・齋藤 彩